

さいたま市防災カルテ

八王子中学校区

①学区の概況と課題

◆学区の概要

- 【位置】中央区の西部に位置し、大宮区・桜区と隣接している。
- 【土地利用】学区内には住宅地が広がっている。
- 【交通】学区の東部には首都高速埼玉大宮線が走っている。

◆学区の位置



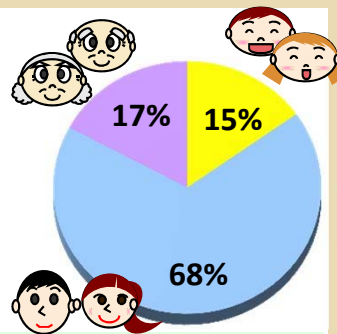
◆学区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6強 (6.2)	6強 (6.0)	6弱 (5.7)			
最小震度	6弱 (5.9)	6弱 (5.7)	5強 (5.2)			
死者	34人 (0.2%)	6人 (0.0%)	1人 (0.0%)			
負傷者	106人 (0.7%)	44人 (0.3%)	9人 (0.1%)			
避難者	3,884人 (26.4%)	908人 (6.2%)	131人 (0.9%)			
全壊建物棟数	1,268棟 (30.4%)	265棟 (6.4%)	23棟 (0.6%)			
うち焼失棟数	1,003棟 (24.1%)	199棟 (4.8%)	19棟 (0.5%)			
半壊建物棟数	790棟 (19.0%)	454棟 (10.9%)	141棟 (3.4%)			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	598棟	0棟	0棟	0棟	0棟	221棟
床下浸水建物棟数	913棟	0棟	0棟	0棟	0棟	390棟

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

◆人口概況 (平成22年国勢調査)

	八王子中学校区	全市平均
総人口	14,700人	
人口等		
0-14歳	2,224人 (15%)	(14%)
15-64歳	9,957人 (68%)	(67%)
65歳以上	2,519人 (17%)	(19%)
人口密度	8,454人/km ²	5,766人/km ²

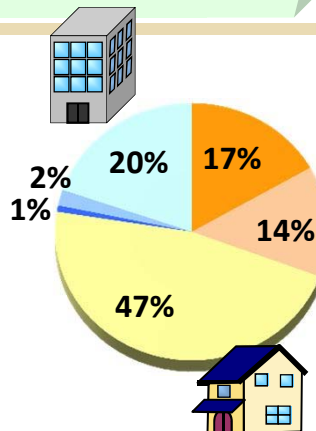


- 【地震】さいたま市直下地震の震度が最も大きくなっており、**地区の約50%が全壊・半壊の被害**を受け、**地区の約25%にあたる建物は焼失**する恐れがある。
- 【水害】荒川が氾濫した場合、**地区の35%以上が浸水被害**を受ける。

● 人口割合は全市平均とほぼ同等である。

◆建物概況 (平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

	八王子中学校区	全市平均
総建物棟数	4,168棟	
建物		
木造(昭和46年以前)	696棟 (17%)	(17%)
木造(昭和47-55年)	582棟 (14%)	(12%)
木造(昭和56年以後)	1,952棟 (47%)	(45%)
非木造(昭和46年以前)	33棟 (1%)	(1%)
非木造(昭和47-55年)	83棟 (2%)	(3%)
非木造(昭和56年以後)	822棟 (20%)	(21%)



● 建物の割合は全市平均とほぼ同等である。

◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

種別	名称
避難場所	八王子中学校、与野西北小学校、県立いずみ高等学校
一時・広域避難場所	八王子公園
市・区役所等窓口	
消防署・出張所	
警察署・交番	
救急病院	
応急給水場所	与野西北小学校、八王子公園

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

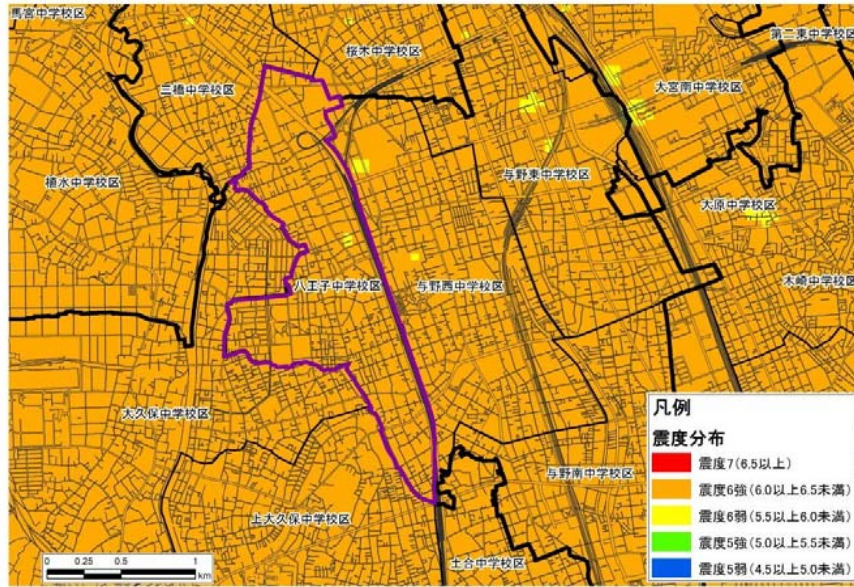
- 【耐震化】多くの建物被害が想定されているため、**耐震化率の向上が必要**。
- 【水害】水害の危険性が高い地区となっており、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必要**。

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話合ってみましょう。

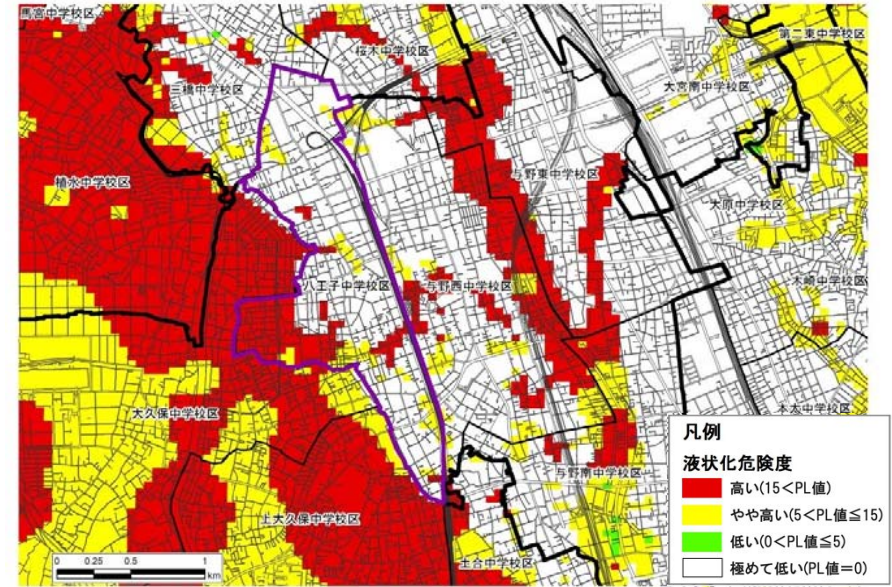
②さいたま市直下地震の想定 さいたま市防災カルテ

八王子中学校区

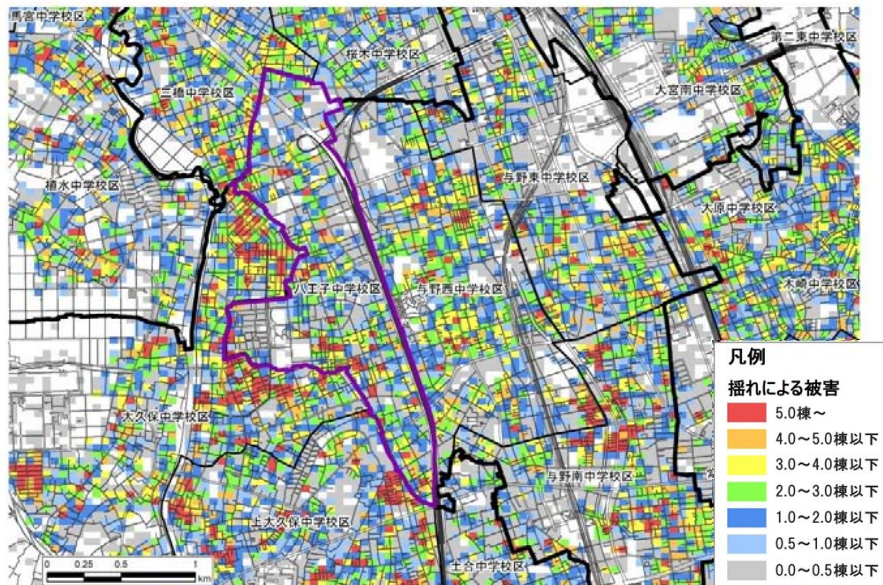
震度分布図



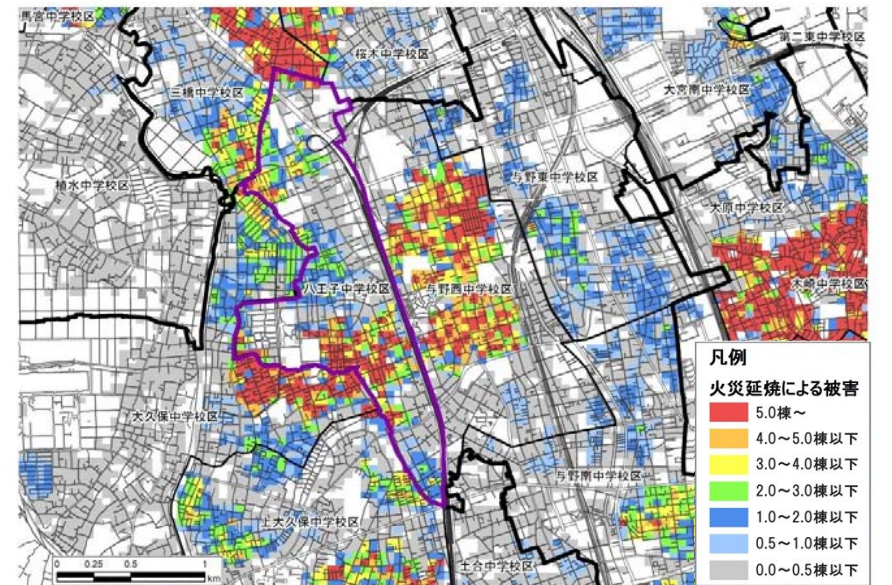
液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

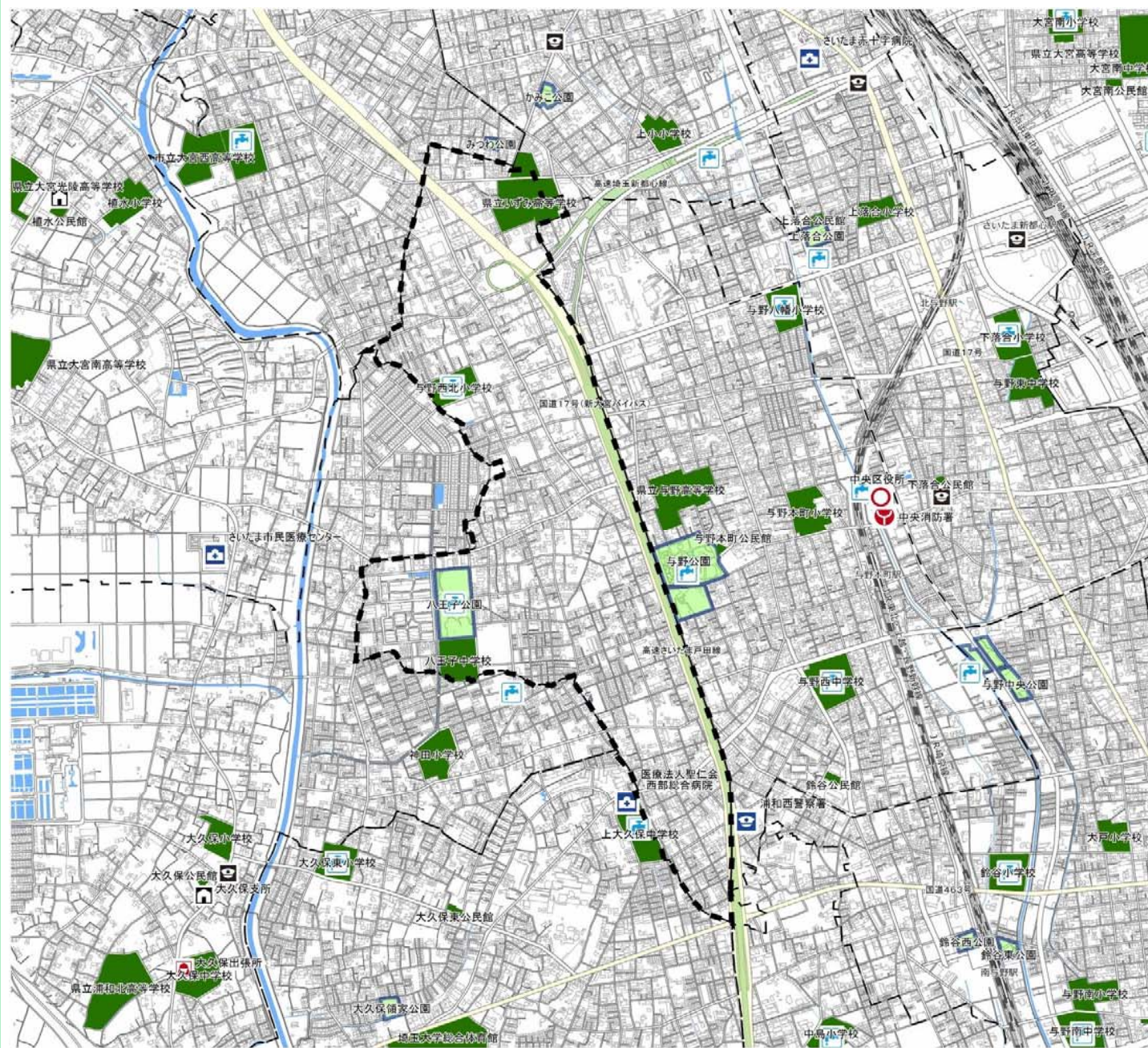


本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話合ってみましょう。

③防災マップ

さいたま市防災カルテ

八王子中学校区



凡例

	避難場所		消防署
	一時避難場所		消防署(出張所)
	広域避難場所		警察署
	市役所		交番・駐在所
	区役所		救急病院
	支所・市民の窓口		応急給水場所

(平成26年2月時点の情報で作成)

